



環境研究総合推進費

Environment Research and Technology Development Fund

令和9年度

新規課題を 公募します

公募期間 2026年

9.7月 10:00 から
10.9金 10:00 まで

若手研究者の研究区分を設置

- ・研究期間3年以内
- ・予算規模 各年600万円以内
又は300万円以内

人文・社会科学分野から
自然科学分野まで、
多様な分野の研究を募集

実証・実用化を
目指している
研究・技術開発も支援対象

環境政策への貢献・反映を 目的とした競争的研究費です

公募説明会

オンラインで公募説明会を実施します。事前登録制となりますので、ERCAホームページよりお申し込みください。

第1回

日時：2026年8月5日(水) 14:00～15:50(予定)

内容：推進費の制度や公募概要、プログラムオフィサー(PO)による研究マネジメントのアドバイス、研究代表者による経験談など

第2回

日時：2026年9月11日(金) 10:30～18:00(予定)

内容：公募内容や申請書作成のポイント、環境省担当者による行政要請研究テーマの説明など

詳細はこちら▶

https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/r09_koubo_3.html



オンライン個別相談会(通年開催)

研究課題の進捗管理・助言・指導を行っているPOがご相談に応じます。応募を予定・検討している方、研究推進部門の方など、ぜひご利用ください。

開催日時

(基本) 平日(月～金/祝日を除く) 10:30～16:30

相談方式、時間

オンライン開催、1組あたり30分
(1年度につき、1組1回限り)

詳細はこちら▶

<https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/online.html>



メルマガ

新規課題公募や推進費課題の情報など、いち早くお届けしています。POによる経験談や申請の助言を不定期配信中。

詳細はこちら▶

https://www.erca.go.jp/suishinhi/m_magazine/index.html



独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー 9階 TEL: 044-520-9509 FAX: 044-520-9660
E-mail: erca-suishinhi@erca.go.jp URL: <https://www.erca.go.jp/suishinhi/> X(旧Twitter): https://x.com/ERCA_suishinhi



環境問題を考慮して非
石油系のベジタブルイ
ンクを使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

この印刷物は、国等による環境物品等の調達の
推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づ
く基本方針の判断の基準を満たす紙を使用して
います。

公募区分		研究開発費の支援規模 ^(※1)	研究期間	委託費・補助金の別
環境問題対応型研究	環境問題対応型研究(一般課題)	4,000万円以内/年	3年以内	委託費
	環境問題対応型研究(技術実証型) ^(※2)	4,000万円以内/年		
	環境問題対応型研究(ミディアムファンディング枠)	2,000万円以内/年		
次世代事業 ^(※3) (補助率1/2)	ア.「技術開発実証・実用化事業」	1億円以内/年	3年以内	補助金
	イ.「次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業」	2億円以内/年		
革新型研究開発(若手枠)	革新型研究開発(若手枠A)	600万円以内/年	3年以内	委託費
	革新型研究開発(若手枠B)	300万円以内/年		
戦略的研究開発 ^(※4)	戦略的研究開発(Ⅰ)	3億円以内/年	5年以内	委託費
	戦略的研究開発(Ⅱ)	1億円以内/年	3年以内	

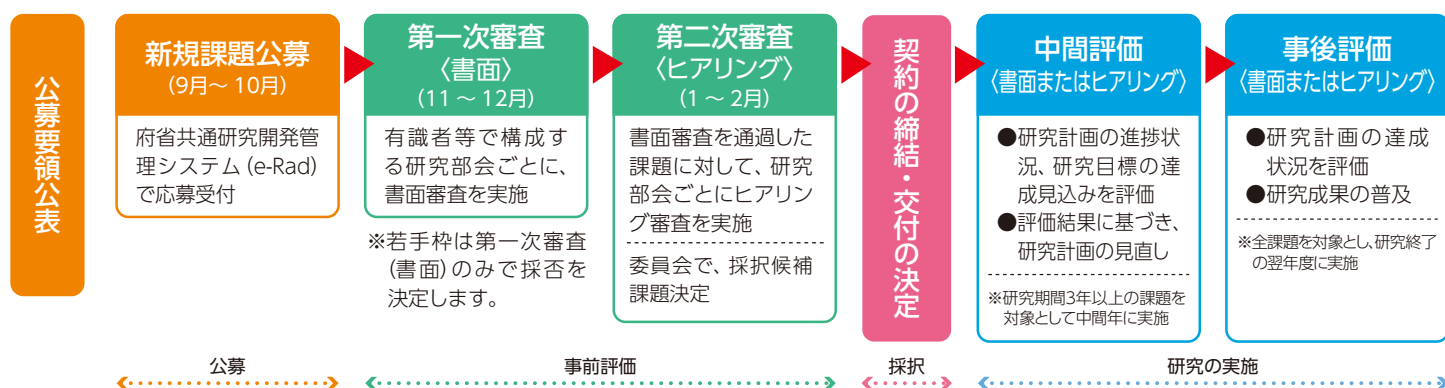
※1 間接経費(30%)、消費税を含む1年間の上限額。

※2 環境問題対応型研究(技術実証型)は、技術開発成果の社会実装を進めるため、当該技術の実用可能性の検証を行う課題。

※3 「技術開発実証・実用化事業」は、環境問題対応型研究等で得られた技術開発等であって、全ての研究対象領域において、実証・実用化を図ることを目指した事業、「次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業」は、資源循環領域において、廃棄物の安全かつ適正な処理、循環型社会の形成推進に関するもので、実現可能性、汎用性及び経済効率性が見込まれる技術を開発する事業。

※4 「戦略的研究開発」は、公募に原して、あらかじめ環境省が研究プロジェクトを構成する研究テーマを提示し、各テーマを構成する研究課題(サブテーマ)を公募します。

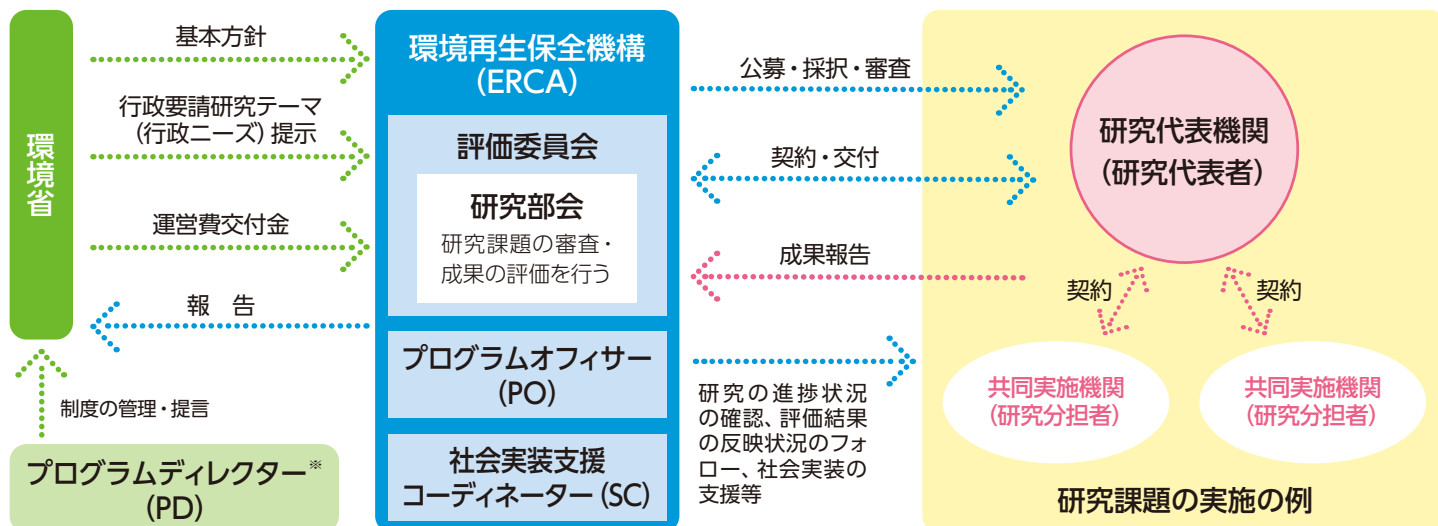
スケジュール



研究の実施体制について

ERCAは、推進費の配分機関として、研究費の配分・契約や、外部有識者等による委員会の設置、新規課題の公募及び審査、中間・事後評価等の業務を行っています。推進費の基本方針の検討・策定、行政要請研究テーマ(行政ニーズ)の策定・提示、環境政策への活用及び推進費制度全体の管理・評価については、環境省で実施しています。

研究期間中は、基本的に各課題に1名のプログラムオフィサー(PO)を配置し、研究の進捗状況の確認や中間評価結果のフォローアップを実施します。また、社会実装支援コーディネーター(SC)が研究成果の社会実装を支援します。



※環境省では、豊富な研究経歴のあるプログラムディレクターを配置し、制度の適切な運用を行います。